

受入人数		【1年次】2名		研修手当				休暇				当直 /月	宿舎	社会保険・労働保険等
常勤・非常勤	基本手当		賞与		時間外	休日	勤務時間	有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	402,000円		400,000円		有 (基本手当に含む)	無	平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30	10		有	有	3~4回	有	全国健康保険協会管掌健康保険・厚生年金・労災保険・雇用保険・医師賠償責任保険については病院加入、個人加入は任意だが、加入を勧める

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	内科は3階西病棟(総合)、5階東病棟(呼吸器・腎臓・糖尿病)、6階西病棟(消化器・血液・膠原病)、循環器内科病棟、神経内科病棟にわかれており、5病棟のうち3病棟を選択し、2ヶ月間ずつローテーションする。各病棟では指導医のもと入院患者10名前後を受け持ち、症状、身体所見、検査所見に基づき、鑑別診断、診断確定、治療を行っていく過程を研修する。この研修を通し、医療面接、身体診察法、臨床検査の適応と解釈、手技、治療法など、診療に必要な基本的能力を修得する。病棟での各専門分野別のカンファレンスに参加し、内科学会や専門学会で症例報告をするよう努める。
救急科	救急専門医の指導のもとで、救命救急センターにおける救急患者の診療を行う。頻度の高い救急疾患を数多く経験し、各種症候の鑑別診断と初期治療、各種救急処置、心肺蘇生法、外傷の初期治療などを研修する。生命や機能的予後に係わる緊急を要する病態、疾病、外傷などに対し、適切な初期の対応ができるようになるために、バイタルサイン・重症度・緊急度に関わる判断能力および適切な緊急処置の施行能力を獲得する。
外科	基本的な外科的知識、技術、および態度を習得し、メス・クーバーの使い方、結紮、縫合の方法など基本的な手術手技を経験することを目的とする。当院の外科は多数の外科的疾患に対し診断・治療を行うとともに、多彩な腹部救急疾患に遭遇する機会に恵まれている。従って、待機的な一般的外科手術患者における入院、検査、手術、術後管理の経過を把握し、自ら積極的に治療計画に参加し、また、多数の外科的救急疾患を経験するよう努める。最終的に救急疾患の代表である急性虫垂炎の診断、手術(術者を経験する)、術後管理ができるようになることを目標とする。
小児科	日本における小児医療制度、小児科医の役割を理解し必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。病棟を中心に外来、救急医療の研修を行う。 <小児の特殊性> ①新生児の入院、退院診察や乳児健診を経験することにより、正常小児の発達、成長を理解する。 ②患児のみならず、養育者(特に母親)とのコミュニケーションの確立の重要性について理解する。 ※詳細は、「済生会宇都宮病院初期臨床研修プログラム」による
産婦人科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	内科6ヶ月ローテーション中に、週一回、指導医の初診外来で研修。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科なし

○研修アピール
 済生会宇都宮病院は、病床数644床を有し、30の診療科を標榜する地域の中核病院です。また、当院には栃木県救命救急センターが併設されており、一次から三次にいたる救急疾患を扱う頻度が高く、様々な患者さんが地域医療機関から紹介されています。common diseaseから重症例・急性期疾患を含む多種多様な患者さんを診療していますので、研修医教育もcommon diseaseを中心に急性期疾患のプライマリケアを重視し、広い視野を持った第一線の臨床家としての知識・技術・態度の育成に力を入れていきます。初期臨床研修医は主治医、副主治医のもとで研修を受け、教育行事としては、1年次初期研修医セミナー(医療機器の取扱い研修、シミュレーション研修等)、研修医教育講演会、クリニカルパス大会、死亡症例検討会、CPCなどに加え、各診療科での回診、症例検討会、抄読会、クルズなどがあります。限られた期間に研修成果が上がるよう努めています。

○研修医からのメッセージ
 済生会宇都宮病院の初期研修の特徴は1豊富な症例、2上級医、3自主性です。
 1:豊富な症例
 当院は病床数644床、診療科はほぼ全ての科が揃う栃木県の中核病院です。3次救急指定病院であり救急車は年間7000台を超え、各診療科でcommon disease からrare diseaseまで様々な症例を経験します。もちろんCV、腰椎穿刺、胸腔ドレインなどの手技の機会も豊富で、2年目になると人によっては上部内視鏡の止血術や心臓カテーテル検査の術者となる事も出来ます。本人のやる気次第でどんどん成長できます。
 2:上級医
 各科、専門医の先生方が在籍していて、カンファレンスや勉強会など頻りに開催され、皆さん大変教育的です。特に救急外来においては当直でも必ず救急科の先生がいて、即時のフィードバックが得られます。また、優秀な後期レジデントの先生方にも恵まれ、総合医局なのですぐに質問の出来る環境です。
 3:自主性
 基本的には研修医にdutyはなく、採血・静脈確保なども看護師の方がやってくれます。(もちろん自分でやってもOK)。日々の診療も拘束時間は長くない科が多く座学の時間も十分に得られます。図書室も充実していますし、Up to DateやDynamedなどの医療情報検索サイトも病院単位で登録しており、医局の自分のパソコンからいつでもアクセス出来ます。また、研修医主催の勉強会も週数回開かれており研修医、皆で日々切磋琢磨しています。
 是非一度見学に来て当院の魅力を感じてください！お待ちしております！

研修実施責任者 外科系診療部長兼呼吸器外科主任診療科長 仲地 一郎

※問い合わせ先

担当部署・担当者名: 人事課 須藤 圭人

住所: 栃木県宇都宮市竹林町911-1

TEL: 028-626-5500

E-mail: keito_suto@saimiya

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項

- ・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
- ・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

2025年度 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院 (病床数 644) 【2年次】

受入人数	【2年次】1名													
常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇			当直 /月	宿舍	社会保険・労働保険等	
	基本手当		賞与		時間 外	休日		有給		夏季				年末 年始
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤		455,000円		600,000円	有 (基本手 当に含 む)	無	平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30		10	有	有	3~4回	有	全国健康保険協会管掌健康保険・厚生年金・労災保険・雇用 保険・医師賠償責任保険については病院加入、個人加入は任 意だが、加入を勧める

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修 (在宅を 含む)	ファミリークリニックきたなぐすく(沖縄)、あま市民病院(名古屋)のいずれかで研修を行う
一般外来	研修不可
外科	基本的な外科的知識、技術、および態度を習得し、メス・クーバーの使い方、結紮、縫合の方法など基本的手術手技を経験することを目的とする。当院の外科は多数の外科的疾患に対し効率よく診断・治療を行うとともに、多彩な腹部救急疾患に遭遇する機会に恵まれている。従って、待機的な一般的外科手術患者における入院、検査、手術、術後管理の経過を把握し、自ら積極的に治療計画に参加し、また、多数の外科的救急疾患を経験するよう努める。最終的に救急疾患の代表である急性虫垂炎の診断、手術(術者を経験する)、術後管理ができるようになることを目標とする。
小児科	日本における小児医療制度、小児科医の役割を理解し必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。病棟を中心に来来、救急医療の研修を行う。 《小児の特殊性》 ①新生児の入院、退院診察や乳児健診を経験することにより、正常小児の発達、成長を理解する。 ②患児のみならず、養育者(特に母親)とのコミュニケーションの確立の重要性について理解する。 ※詳細は、「済生会宇都宮病院初期臨床研修プログラム」による
産婦人科	研修目標 1. 女性特有の緊急を要する疾患に対し適切な診断、治療ができる。 2. 女性の思春期、性成熟期、更年期、老年期の各年代における生理を理解し、ホルモン環境の変化、失調により起こる疾患、女性特有の疾患の診断、治療ができる。 3. 妊娠、分娩、産褥を通してその生理と母性を学ぶ。 ※詳細は、「済生会宇都宮病院初期臨床研修プログラム」による
精神科	医療法人恵会 皆藤病院において精神科の研修を行う
麻酔科	手術麻酔に必要な手技を習得し、重症患者の病態と治療を理解するため、手術室や集中治療室で研修を行う。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

内科	循環器内科	神経内科	血液・リウマチ科	消化器内科
呼吸器内科	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	外科	呼吸器外科
整形外科	脳神経外科	心臓血管外科	小児科	産婦人科
耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	麻酔科
超音波診断科	放射線科	救急・集中治療科	形成外科	総合診療科
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

○ 研修のアピール

済生会宇都宮病院は、病床数644床を有し、30の診療科を標榜する地域の中核病院です。また、当院には栃木県救命救急センターが併設されており、一次から三次にいたる救急疾患を扱う頻度が高く、様々な患者さんが地域医療機関から紹介されています。common diseaseから重症例・急性期疾患を含む多様な患者さんを診療していますので、研修医教育もcommon diseaseを中心に急性期疾患のプライマリケアを重視し、広い視野を持った第一線の臨床家としての知識・技術・態度の育成に力を入れています。初期臨床研修医は主治医、副主治医のもとで研修を受け、2年目には1ヶ月間沖縄、名古屋、陸前高田のどちらかで地域研修も選択でき、異なった地域での医療を経験する機会があります。教育行事としては、研修医教育講演会、クリニカルパス大会、死亡症例検討会、CPCなどに加え、各診療科での回診、症例検討会、抄読会、クルズスなどがあります。また研修医主催の勉強会も週次回開かれており研修医全員で日々切磋琢磨しています。

研修実施責任者 外科系診療部長兼呼吸器外科主任診療科長 仲地 一郎

※問い合わせ先

担当部署・担当者名： 人事課 須藤 圭人

住所： 栃木県宇都宮市竹林町911-1

TEL： 028-626-5500

E-mail： keito_suto@saimiv